



# 108

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内

発行人 江幡秀則  
発行日 令和8年7月1日  
通巻 第108号  
HP www.chidokai.jp  
メール chidokai\_mito@chidokai.jp  
\*HPはカラー版がご覧になれます。



〈目次〉

創立150周年記念事業	1
創立150周年記念事業 募金・ロゴマーク募集	2
生徒観劇会開催 音楽劇『夜のピクニック』再演 主演・三森千愛さんインタビュー	3
一高だより	4

## 創立150周年記念事業を開始 募金目標1億8,500万円を定める



知道会館外観



2F 食堂兼集會室

茨城県立水戸第一高等学校は令和10(2028)年秋に創立150周年を迎えます。明治11(1878)年の茨城師範学校予備学科の設置に始まる今日までの長い歴史の中で、水戸一高は幾多の変革期を乗り越えながら約4万人の卒業生を世に送り出してきました。

母校が創立150周年という大きな節目を迎えるにあたり、知道会では学校とともに昨秋から実行委員会を設置して記念事業の内容を検討してきました。会則に定める事業方針「母校の発展に貢献するための協力と支援活動」に沿い、今般、実行委員会、幹事会を経て代議員会で決定された主な記念事業の内容は以下の通りです。

- ・知道会館の整備  
(ICT設備導入および長寿命化)
- ・記念式典、祝賀会の開催
- ・記念誌(水戸一高150年史)の発行
- ・生徒海外派遣支援  
(令和11~20年 10年間)
- ・部活動遠征費支援  
(令和11~20年 10年間)
- ・音楽劇『夜のピクニック』生徒観劇会開催

### 中心事業に「知道会館の整備」

知道会館は創立100周年記念事業として知道会からの寄付などをもとに昭和53(1978)年に建設し学校

に寄贈されたもので、鉄筋コンクリート3階建、2階に厨房と食堂兼集會室、3階に和室と大広間、シャワー設備や洗濯室などを備え、これまで授業や課外活動等に幅広く活用されてきました。会員の中には合宿や学苑祭などで利用した思い出のある方も多いと思いますが、竣工から47年が経過して老朽化箇所が多くみられるようになってきました。旧制中学の時代から親しまれてきた「知道」の名を冠するこの施設を、次代を担う後輩たちの学びの場として今後も長く活用できるよう、最新のICT設備(映像・音響機器及び通信環境整備)の導入と、建物の長寿命化を図る大規模改修を実施するものです。

ICT設備の導入により、例えば国内外で活躍する卒業生の講義を受講することも可能となり、生徒が語学・国際・理数教育など幅広い分野での高度な知識、経験を得られる場所となること、また、長寿命化改修によって建物の適切な維持管理水準を確保することで将来にわたり授業や課外活動に活用し続けることを可能にし、母校の教育環境の向上に寄与することを図ります。

それ以外の事業としては、これまで行ってきた生徒海外派遣支援・部活動遠征費支援の継続、記念誌の発行、記念式典・祝賀会の開催、そし

て本年10月に上演される音楽劇『夜のピクニック』の生徒観劇会(詳細は3ページ)などを行います。

### 募金による事業の推進

この記念事業には知道会館整備に1.5億円、その他の事業に3,500万円の計1億8,500万円の支出が見込まれ、これを皆様からの募金により実施します。このうち知道会館の整備については県への寄贈になるため「特定寄付」として税控除の対象となる予定です。税控除については現在当局の確認手続き中であり、確認が済み次第、知道会ホームページおよび10月発行の知道会報109号にてお知らせします。生徒海外派遣支援その他の事業については「一般寄付」としてお受けします。口座を分けて受け付けておりますので、内容に応じてご支援をお願いいたします。

なお、本年8月末までに個人1万円、法人5万円以上をご寄付いただきました方々につきましては音楽劇『夜のピクニック』生徒観劇会にご招待します。

募金の概要、要領については2ページ「創立150周年記念事業募金について」に記載の通りです。ご不明な点がございましたら知道会事務局にお問い合わせください。

母校創立100周年時以来の大規模な記念事業となります。皆様方には是非事業の趣旨にご賛同を賜り、母校のさらなる発展のため特段のご支援を賜りますようお願いを申し上げます。



3F 大広間

今年の「会員の集い」は11月14日(土) 水戸京成ホテルで開催します

## ～創立150周年記念事業募金について～

皆様のご協力をお願いいたします

### 募金の目的および目標額

- 知道会館整備事業〈特定寄付〉 …… 1億5千万円
  - ・ICT設備（映像、音響、通信環境等）の整備および長寿命化改修
- 在校生の活動支援およびその他の事業〈一般寄付〉 …… 3千5百万円
  - ・生徒海外派遣事業への支援（10年間）
  - ・部活動遠征費の支援（10年間）
  - ・記念誌の発行
  - ・記念式典の開催
  - ・音楽劇『夜のピクニック』生徒観劇会の開催 など

### 募金期間

令和8年7月1日～（令和10年まで実施予定）

### 募金対象

- ①旧制水戸中学校および水戸第一高等学校の卒業生
- ②同卒業生の勤務先企業
- ③水戸第一高等学校・附属中学校の旧職員・現職員
- ④その他本募金の趣旨に賛同する個人ならびに法人

### 募金金額

- 特定寄付 個人 一口3万円  
法人 一口10万円
- 一般寄付 個人 一口5千円（なるべく2口以上）  
法人 一口5万円

口数は任意です。

特定寄付が目標額を超えた場合は、以降は全て一般寄付としての取扱いになります。

### 募金方法

振込先口座は目的別に2種類あります。支援内容に応じてお振込みください。

#### ●特定寄付

（知道会館の整備改修を目的とする寄付 税控除適用 ※確認申請中）

常陽銀行 本店営業部 普通 3956554  
水戸一高150周年実行委員会（特定）

#### ●一般寄付

（海外派遣、部活動遠征補助その他を目的とする寄付 税控除なし）

常陽銀行 本店営業部 普通 3956567  
水戸一高150周年実行委員会（一般）

※振込みの際は、氏名の前に卒年（S60、H12など）または会員番号（お送りしている会報の宛名下部にある「整理番号」のハイフン以降を除く8桁の数字）を必ず付けてお振込み下さい。同姓同名などの判別のためご協力をお願いします。

※法人からの募金につきましては事前に知道会事務局へご連絡をお願いいたします。

※寄付者名簿への氏名記載を希望されない方は、知道会事務局へご一報下さい。

#### 【領収書】

特定寄付の領収書は確定申告前に知道会事務局からお送りします。

## 創立150周年記念ロゴマーク 募集要項

水戸一高が創立150周年を迎えるにあたり、事業のシンボルとなる記念ロゴマークを募集します

### 募集内容

水戸第一高等学校の創立150周年を象徴するオリジナルデザインのロゴマーク

### 応募資格

水戸第一高等学校・附属中学校の在校生、卒業生、教職員（元教職員含む）

### 応募方法

次のメールアドレスに画像(形式は問いません)をお送りいただくか、以下の住所まで郵送してください。ロゴはオリジナルのものに限ります。作品には、「住所、氏名、電話番号またはメールアドレス、卒業年または現在の学年」をお書き添えください。

### 応募先

メール：mitofirst150@gmail.com  
郵 送：〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1  
水戸第一高等学校内 知道会事務局 150周年記念係

### 応募締切

令和8年8月31日(月) 必着

### 結果発表

採用させていただいたロゴは、11月に知道会HPや知道会報にて発表いたします。

### お問い合わせ先

知道会 広報委員会 mitofirst150@gmail.com

知道会・東京知道会合同特別インタビュー

音楽劇『夜のピクニック』主演 <sup>みつもり ちあき</sup> 三森千愛さん (平13卒)

三森千愛 / ミュージカル俳優、フォトグラファー。主な出演『ミス・サイゴン』エレン役、『メリー・ポピンズ』ウィニフレッド・バンクス役ほか。2026年、音楽劇『夜のピクニック』甲田貴子役に挑む。水戸大使。

聞き手 / 磯美保 (知道会広報委員長・昭60卒) 橋本さとみ (東京知道会会報・平8卒)  
 秋田啓人 (立教大学3年 知道会歩く会サポートチーム・令5卒)  
 水戸芸術館 / 櫻井琢郎さん (演劇部門芸術監督)



——歩く会の思い出は？

**三森** キラキラした宝物のような思い出とは言えず——泥臭いですがでも小さいころ泥団子が大切だったように——泥んこだけれど宝物の思い出です。ですが当時は本当に、嫌でした。修学旅行に行きたかったの、やりたくない、どうしてやらないといけなのだろうという思いでした。夏以降の体育が全部マラソンになるのも嫌でした。ただバスには乗りたくない、それが目標でした。

——「貴子」との共通点は？

**三森** 演じることになり、あらためて原作を読み直していますが、共感することが多いです。冒頭で貴子が自分について述べているのですが「これは自分だ！」と思いました(笑)。歩く会については貴子は37組、私は36組だったので、団体歩行が後ろの方で辛い。ものすごくわかりますね。

——卒業生の主演は初となります。

**三森** プレッシャーもあります、とてもわくわくしています。タイトルが『夜のピクニック』というほんわかとしたものですが、全然“ピクニック”ではないじゃないですか！実際やらないと想像がつかない、やってみないと、どんなものかわからないと思うんです。経験した自分だからこそ、あの泥臭さというか、生きるか死ぬかという状況、それが身に染みている自分が演じられるのがうれしいですし、作品の良いパワーになれたらと思っています。

——今回主演が決まって、昨年歩く会のサポートをしたそうですね。

**三森** 年月がたち、コロナも経てだいぶ様変わりにしたな、とは感じました。大休止地が水戸一高になったことで、学校に泊まるので、荷物を置いていけるところとか。

**秋田** 雨の中出発するところを見送られたと思うのですが、思い出したことや感じたことがあったら教えてください。

**三森** 雨の歩く会は初めてだったので、出発式は体育館なんだとか、雨でもやるんだなと思いつつ、雨だし、時代も変わり、早々にバスに乗ろうという人が多くなるのではないかと心配でした。

——脱落者は、例年より少数でした。

**三森** それを聞いて驚きました！骨折しているのに完歩した生徒さんがいて、それもすごいなと思いました。閉門で足の指に豆ができた女子を彼氏が励ましていたり。私が思っていたよりも、今も、脱落したくないという思いがあるということはいれしかったです。

**秋田** 僕はコロナの関係で自由歩行までできたのが最後の1年だけでした。三森さんは2年生の時の中止を挟んでの3年生では、特別な思いがありましたか？

**三森** やりたくないはずなのに、歩かないコースができたことは残念でしたね。3年生は、これで最後なんだな、



秋田啓人

でもやりたくない、やっぱりやりたいのせめぎあいでした。当時の彼氏はサッカー部で、50位以内に入らないと坊主という慣例があり、走っていつてしまうので、最後の自由歩行は誰と一緒に歩くか、すごく考えてました。

**秋田** 僕は硬式野球部を引退後に実行委員をやりました。高校生らしい高校生活の思い出がなく、野球以外の青春をしたいなと思って。

**三森** すばらしいです！実行委員ってとても大変ですね。現役当時は自分のことで精一杯で、実行委員の注意にイラッとしていたりしていましたが、今回サポートをして、あらためて実行委員のすごさがわかりました。

**櫻井** 舞台では実行委員役の人に優しくなるかもしれませんね(笑)

**三森** 本当にそうです！(笑)

——今回、会場が水戸市民会館グロースホールになります。

**櫻井** 会場が大きくなることで演出もよりダイナミックに変わりますし、再々演にあたり、現在の状況を踏まえての変更もあります。鍛錬歩行の時代から現役の生徒さんまで、そして初演、再演を観た方にも楽しんでいただける作品となることをご期待ください。

**三森** 卒業生である自分が演じられることを、本当にうれしく思っています。一緒に歩く会を歩いたような気持ちになってもらえるように演じたいです。

(2026年3月17日 於：水戸芸術館)



水戸芸術館プロデュース公演 音楽劇『夜のピクニック』

2026年10月30日(金)、31日(土)、11月1日(日)

水戸市民会館グロースホール (大ホール)

10月30日(金)13:00(貸切)/18:30、10月31日(土)13:00/18:00、11月1日(日)13:00

【全席指定・税込】一般 6,000円 25歳以下 3,000円(夜公演限定) 18歳以下 1,000円

一般発売：8月1日(土) 9:30～

【原作】恩田陸『夜のピクニック』(新潮文庫刊)

【脚本】高橋知加江

【演出】深作健太 【作曲・音楽監督】扇谷研人

【出演】吉川友、加藤良輔、安達勇人、三森千愛、剣幸(特別出演) 他

【主催】(公財) 水戸市芸術振興財団

【共催】水戸市民会館

【企画制作】水戸芸術館ACM劇場

【企画協力】新潮社

詳細はこちら



150周年記念事業募金に  
 寄付いただいた方を  
 音楽劇『夜のピクニック』  
 生徒観劇会にご招待します

150周年記念事業の一環として、音楽劇『夜のピクニック』の在校生による観劇会を、上演初日の令和8年10月30日(金) 昼の部に開催する予定です。

この生徒観劇会に、記念事業に対してご寄付いただいた皆様をご招待します。対象は、令和8年8月末までに個人1万円、法人5万円以上の寄付をされた方です。該当される方には詳細について9月中旬ごろに事務局からご連絡を申し上げます。

## 新任のごあいさつ

新校長

庄司 一裕  
(昭62卒)



この度、御厩祐司校長の後任として着任いたしました。

昭和62年3月の卒業以来、約40年ぶりに母校の門をくぐることができ、深い誇りと感慨を覚えております。同時に、高校・附属中学校の校長として、夢と希望を胸に歩む生徒たちと向き合う今、その責務の重さを改めて痛感しております。

本校は2年後に150周年を迎えます。知道会の皆様には、この機会にぜひ思い出の学び舎を訪れていただき、後輩たちへの温かい激励を賜れば幸いです。どれほど予測困難な未来であっても、校是の精神を胸に、「あきらめず求め続けるところに最高の喜びがある」ことを忘れず、生徒とともに邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。上げ、新任のご挨拶といたします。

## 退任のごあいさつ

前校長

御厩 祐司



このたび、校長を退任いたしました。ご支援いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

エレノア・ルーズベルトの「あなたの心が正しいと思うことをしなさい。どっちにしたって批判されるのだから」との言葉を胸に、「最高の出会いと出番がある学校」をめざし、全身全霊取り組みました。

茨城ローカルでも教員出身でもない校長との出会いが、生徒たちにとって刺激的なものであったとすれば、何よりです。

在任中の学校の様子や講話の内容は、ホームページにて逐一発信しました。時代を共にした生徒たちの将来の活躍ふりとあわせ、評価は歴史に委ねます。

結びに、本校・知道会の発展と、皆さまのご健勝を心より祈念し、退任のご挨拶といたします。

## 令和8年度定期人事異動

次の方々が異動された。

- 退職 (教科および在職年数)
  - 御厩 祐司 (校長、4年)
  - 小林 義則 (英語、11年) 水戸三高へ
  - 浅野 絵里 (養護教諭、3年)
  - 鈴木 敦 (地公、1年)
  - 井坂 敏行 (数学非常勤、1年)
- 転出
  - 石川 明 (中教頭、2年) 水戸商高教頭
  - 佐藤 総英 (副参事兼事務室長、3年) 日立北高へ
  - 小野瀬勇一 (英語、9年) 荳崎高教頭
  - 中根 満 (数学、6年) 水戸桜ノ牧高へ
  - 丸山聡一郎 (社会、4年) 土浦二高へ
  - 清浦 昌之 (技術、2年) 下館工高・土浦一高附属中へ
  - 大竹 彩乃 (事務、3年) 義務教育課へ
- 転入 (学校名は前任校)
  - 庄司 一裕 (校長、学校教育部長)
  - 片根 満保 (中教頭、太田西山高)
  - 小西 孝典 (事務室長、水戸農高)
  - 渡邊 千尋 (国語、石下紫峰高)
  - 門井 寿通 (地公、石岡二高)
  - 寺門 義浩 (地公、水戸商高)
  - 湊 清一郎 (地公、新規採用)
  - 川村 学 (数学、並木中等)
  - 土門 直樹 (数学、海洋高)
  - 川上 一成 (英語、高校教育課)
  - 松山 彩 (英語、大洗高)
  - 小田 和世 (国語、新規)
  - 関口 仁 (理科、水戸工高)
  - 長場 颯士 (技術、新規採用)
  - 森作 聡美 (養護教諭、新規採用)
  - 堂 英夫 (数学非常勤、新規)
  - 金沢 麻純 (事務、緑岡高)

## 附属中学校・水戸一高入試報告

附属中入試倍率

4.10倍 (定員70名)

志願者数 289名

水戸一高入試倍率

1.46倍 (定員161名)

志願者数 235名

## 入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。( )内は現役合格者数。

### ○ 国立大学

北海道大	8 (7)
東北大	34 (31)
茨城大	9 (8)
筑波大	32 (27)
埼玉大	2 (2)
千葉大	8 (6)
お茶の水女子大	4 (3)
東京大	8 (7)
東京科学大	4 (1)
東京外語大	5 (4)
東京学芸大	5 (4)
一橋大	1 (0)
横浜国立大	3 (2)
名古屋大	3 (2)
京都大	4 (2)
大阪大	3 (2)

### ○ 私立大学

青山学院大	21 (18)
慶應義塾大	22 (9)
上智大	19 (17)
中央大	36 (26)
東京理科大	88 (61)
法政大	32 (20)
明治大	70 (50)
立教大	16 (13)
早稲田大	39 (28)

### ○ 医学部医学科

国公立	20 (11)
私立	18 (4)
準大学	1 (0)

(令和8年4月3日現在)

### 学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年)10月2日

令和8年 創立148年

同窓会員数 40,439名

住所判明者数 22,622名

在籍生徒数 高校 723名(男子408名 女子315名)

中学 237名(男子125名 女子112名)

(令和8年5月現在)

## 令和7年度 海外派遣プログラム (米台) 実施報告

昨年度から米国と台湾の2方面になった海外派遣プログラムについて、引率教員からの報告を紹介します。

### 米 国

令和8年1月11日より5泊6日の日程で、40名の生徒と共に米国サンフランシスコ研修を実施した。全行程で好天に恵まれ、実り多き研修となった。

現地校Wilcox高校訪問では、当初は不安げな生徒らもバディと一緒に授業体験を経て、昼時には現地の学生と笑顔で語らう姿が見られた。カリフォルニア大学バークレー校、スタンフォード大学では、学生との交流や「街づくり」等をテーマとした模擬講義に参加。教授へ熱心に質問を重ねる生徒らの姿には、知的好奇心の高まりを強く感じた。さらに最先端企業への訪問は、世界の第一線を肌で感じる貴重な機会となった。

本研修を通じ、生徒・引率共に得

た最大の収穫は、「人との出会い」である。行く先々で触れた温かな情誼と日本への高い関心は、自国の価値を再発見する好機となった。研修実現にご尽力いただいた知道会の皆様に深く感謝し、本事業が今後も持続的なものとなることを心から願っている。

(引率教員：三宅正隆 宮澤美香)



ゴールデンゲートブリッジ



スタンフォード大学



企業訪問Plug and Play

### 台 湾

令和8年2月24日から28日の5日間、高1生26名と中3生14名が台湾海外派遣プログラムに参加しました。1日目は移動のみとなり、2日目は、1月に本校を訪れた国立新竹科学園区実験高級中等学校の生徒と再会し、英語で交流しました。午後はTSMC社の博物館で最先端の半導体製造技術を学びました。3日目は故宮博物院を見学後、国立台湾大学にて張文薫先生の講義

を受け、学生とのキャンパスツアーで積極的に対話を重ねました。4日目はB&S (Brothers & Sisters) プログラムにおいて、大学生の同行のもと自ら立案したプランで各地を巡りました。夜には淡水で夜市も体験することができました。最終日は中正記念堂で台湾の歴史に触れました。この研修を通して、生徒は異文化に

触れると共に、英語がコミュニケーションツールとしていかに重要であるかを肌で感じる事ができました。最後に、知道会の皆様から多大なるご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。この研修をきっかけに、生徒たちがさらに成長することを期待しています。

(引率：白石拓史、関健斗)



TSMC博物館



故宮博物院



国立新竹科学園区実験高級中等学校

## 部活動報告

### 放送部 第42回NHK杯全国中学校 放送コンテスト入賞

附属中3期生がテレビ番組部門で全国入賞を果たした。「水戸城と歩む」というタイトルで、総合の時間に深めた学びを紹介する作品をドキ



ュメント番組として仕上げた。水戸一高の歴史や自然等をツアー形式でガイドする「水戸一の道ガイドツアー」の様子を盛り込みながら、水戸一高の現在の姿を伝える作品を作ることができた。附属中の体験型部活動から入部をした生徒たちが飛躍の一步を踏み出した。

(一家優太 (3A)、本田瑛一朗 (3A)、丸茂愛佳 (3A)、大内彩愛 (3B)  
顧問：白石拓史)

### 吹奏楽部 第30回全日本中学生・高校生 管打楽器ソロコンテスト出場

令和8年(2026)3月25日(水)  
武蔵野音楽大学ブラームスホール



(東京都練馬区)において開催された「第30回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」に、本校生徒の木上さつき(21組)が関東甲信越支部代表として出場いたしました。本人は「3度目の挑戦となった今回は、自分が思う曲の魅力を観客に届けられる演奏を目指した。本番では思い通りの演奏はできなかったが、素晴らしいホールで一演奏者として評価される舞台上に立てたことを誇りに思います。」と語りました。

## 学校家庭クラブ(個人) 第73回全国高等学校家庭 クラブ研究発表大会出場

令和7年7月31日(木)、8月1日(金)三重県四日市市文化会館にて開催された、第73回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会三重大会に、袖山亜彩美(34組)が関東ブロック代表として出場し、ホームプロジェクトの部において、文部科学大臣賞を受賞した。大会では、題目を「祖母サポート! in 食生活〜栄養満点で食べやすい食事を〜」として、体重減少や持病に悩む祖母のために、食べやすく栄養満点な食事の考案・サポートをしてきたことを発表した。今後の活躍にも期待したい。



左:袖山(発表者)、右:櫻井(発表補助者)

## 全日本ジュニアクラシック 音楽コンクールピアノ部門 高校2年生の部出場

35組 小笠原輝  
2024年12月よりパルテノン多摩にて開催された、全日本ジュニアクラシック音楽コンクールピアノ部門高校2年生の部に出場し、ショパンのバラード4番を演奏しました。この曲は、幻想的な趣の中に深い叙情が表現されていると言われており、私の憧れの曲でした。ショパンの込めた心情を少しでも理解しようと試行錯誤する日々でしたが、全国大会という舞台上で演奏し、審査員賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。今までご指導頂いた先生方に感謝致します。



## ワールドスカラズカップ 世界決勝大会参加

3B 山内尚香、21組 野口紗希、  
26組 服部美希  
私たちは、11月にアメリカのイェール大学で開催された、ワールドスカラズカップ世界決勝大会に参加してきました。これは、ディベート、クイズ、エッセイなどを全て英語で行い、一般教養を競う大会です。(私達は金メダルや銀メダルを獲得することができました。)

世界中の学生が、政治的な思想なしに自由に交流できる場はとても新鮮で刺激的でした。一方、(他の高校の日本人参加者を含む、世界中の)多才な学生と関わる中で、自分の未熟さを痛感しました。この経験を糧に今後の学校生活でさらに自分を高めていきたいです。



## 全国小・中学校作文コンクール 茨城県審査 最優秀賞受賞

2B 松本悠菜  
「心の中の幸せ」という作文が、全国小・中学校作文コンクールの茨城県審査で最優秀賞を受賞し、中央審査に進みました。フィリピンの体験を振り返りながら、「幸せとは何か。」という問いについて考えをまとめたものです。そのときに感じた思いを改めて見つめ直すきっかけになりました。目に見える豊かさだけでは測れない幸せを、これからも大切にしていきたいと思います。周りとは比べるのではなく、日々の中にある小さな幸せに気づきながら過ごしていきたいです。

## 高校生平和大使



22組 中垣美咲  
「ビリョクだけどもリョクじゃない」これは核兵器の廃絶と平和な世界の実現を目指す、私たち高校生平和大使のモットーです。私たちは全国で核兵器廃絶を求める署名を集め、毎年スイス・ジュネーブの国連軍縮部を訪れ提出しています(昨年度11万1,071筆)。そして私たちの平和への熱い思いを訴えるリリーススピーチを行っています。私は「世界では戦争が起こっているが、原爆の関連施設に年代、国籍を問わず沢山の方が訪れてくれている。そこに未来を変えていく希望がある。」と強く主張をしました。今までの活動を通じて得た学びや思いを多くの人に伝え、人間の命を尊ぶ平和な世界へアプローチを続けていきたいです。

## 日展入選(書道)

芸術科書道教諭 藤枝咲絵(平23卒)  
水戸一高に勤務して6年目、第118回日展第五科(書)において初入選の栄誉を賜うことができました。水戸一高の学びの環境があつてこそのご縁であると心より感謝申し上げます。  
自分が高校生だった頃、書道部顧問の先生が出品されていた日展を見学するため、東京六本木の国立新美術館へ出かけました。新しい世界に足を踏み入れたそのときの衝撃は今でも忘れません。自分も芸術科の教員として生徒たちに一つの範を示すことができたかと考えております。



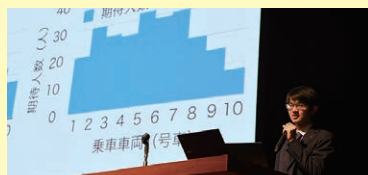
「陶淵明詩 錦園田居二首」

## 令和7年度知道プロジェクト発表会開催

令和8年2月21日、ザ・ヒロサワ・シティ会館にて、「令和7年度知道プロジェクト発表会」が開催された。メインプログラムの高2生によるステージ発表では、「カラスに破られないごみ袋」や「混雑する駅構内のスムーズな移動について」の研究など、本格的かつ興味を引かれるようなテーマで研究成果が披露され、在校生からの質疑も盛り上がった。

また、中学生による特別発表では、校内ガイド企画「水戸一の道」の紹介が行われ、寸劇仕立ての説明に会場は大いに沸いた。

ロビーでのポスター展示にも多くの人々が足を止めていた。展示者のひとり、園部亜唯彩さん(26組)は、自



▲高校生による発表



▲園部さんのポスター展示

身が所属する陸上競技部で使える「AIコーチングアプリ」を開発し、常陽銀行主催のアプリコンテストで最優秀賞に選ばれたという。

どの発表も、ジャンルはそれぞれ全く異なるものでありながら、どこか共通した「一高らしさ」がある。知りたいことをとことん追求するその姿勢こそ、「知道」と言えるもののなのかも知れない。(広報委員 平戸正英(平13卒))

地元または現在の住所地に近い地域知道会に入会することができます。入会ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

### 水戸一高昭和40年卒至誠会卒業60周年記念同窓会報告

幹事 金澤 正巳

令和7年11月11日(火)午後3時ホテルレイクビュー水戸において第11回の同窓会を開催した。参加者は80名。至誠会同窓会は過去10回までは、いずれも夕方開催が恒例であったが、高齢者は早く帰宅せよという社会的要請に対応してか、今回は3時からと早まったようだ。今年は卒業60周年、また昭和100年等の区切りの良い年にもあたる。

幹事長の野上公雄君の司会でスタート。まず在りし日の学友・恩師を偲び黙祷を捧げる。鈴木一良会長の短いあいさつの後、至誠会恒例の同窓生による講演会へと移る。我が学年の同級生には、経済界ではケーズデンキの社長・会長として活躍された加藤修一君とアダプストリアグループの総帥として世界を股にかけて活躍している福田三千男君がいるが、今回は福田君が講師を引き受けてくれた。

タイトルは「テツ・アートプラザの開設と運営」である。福田君が、水戸市泉町にある明治42年建築の歴史的建造物である旧三菱銀行水戸支店店舗を購入し、その遺構を生かしながらカフェ、ホール、美術館を併設する「テツ・アートプラザ」として水戸の文化交流の拠点にしようとする企画についての講演であった。この美術館においては、吉田石油(株)代表であった故吉田光男氏より寄贈されたシルクロードの仏教美術や陶磁器のコレクションと、福田君が蒐集された日本近現代の絵画と工芸作品が展示されるという。楽しみなことである。ちなみに、「テツ・アート」のテツとは、福田君の父親の「哲三」氏に由来するとのことである。

講演の後には鈴木敏之君の乾杯の音頭で懇談が始まる。クラス毎のテーブル席であったが、30分も経たないうちに各テーブル入り乱れての賑やかな会話が飛び交う。懇親も佳境に入るころに、思い出コーナーとして、過去3回の至誠会同窓会集合写真のスライド上映を行う。50年前の第1回同窓会の写真では、若かりし頃のはつらつとした我が姿を皆懐かしく見入っていたのが印象的であった。

宴もたけなわの5時半、元応援団の曾澤洋輔君のリードで参加者一同校歌を斉唱し、大曾根文彦君の閉会の辞で同窓会は終了した。



やっぱり同窓会とは良いものだ。

### 令和7年知道会会員の集い開催報告

令和7年11月15日(土)水戸京成ホテルにおいて「知道会会員の集い」が開催されました。平成6年卒・平成16年卒・平成26年卒の幹事学年の準備・企画・進行のもと、230名以上の参加で賑やかに開催されました。

代議員会終了後、知道会において支援させていただいております「海外派遣研修報告」が、参加した生徒により行われました。その後の講演会では「医師からみた世界と日本～難民支援と救急医療の現場から～」と題し、平成6年卒の日本赤十字社和歌山医療センター救急科・集中治療部副部長の医師、益田(旧姓：山口)充氏の講演会を開催しました。



懇親会では江幡会長、御厩校長の挨拶の後、稲葉前会長の乾杯し、懇談となりました。懇親会の余興においては、水戸市三の丸出身の講師、松林伯知さんの講演で会場を盛り上げていただきま

した。また水戸芸術館ACM劇場の比嘉まどか様、本校卒の三森千愛さん(平13卒)より音楽劇『夜のピクニック』の紹介があり、三森さんより素晴らしい歌のご披露もありました。懇親会の終盤では本校卒業50周年を迎えた方々を代表して谷萩陽一氏(昭50卒)よりご挨拶をいただき、東京知道会幹事学年である綿引祐一さん(平9卒)から東京知道会集いの紹介をしていただきました。最後に来年度幹事の平成7年・平成17年・平成27年卒の皆様へ幹事の印である軍配と法被が引き継がれ、校歌を斉唱、盛況のうちに閉会となりました。

今回の会員の集いは令和8年11月14日(土)水戸京成ホテルにて開催予定です。会員の皆様の一層のご参加を心よりお待ちしております。



### 第75期第55回代議員会

第75期(令和7年10月～令和8年9月)第55回代議員会が令和7年11月15日(土)知道会会員の集いに先立ち12時50分から水戸京成ホテルにおいて開催されました。審議等概要は以下の通りです。

- (1) 第74期事業報告として委員会活動と事業、母校助成協力事業および学年・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長から報告され、了承されました。
- (2) 第74期決算について出澤財務委員長から、監査結果について安監事から報告され、承認されました。
- (3) 第75期の事業計画案が河野幹事長から説明され、原案通り承認されました。
- (4) 第75期の予算案が出澤財務委員長から説明され、原案通り承認されました。
- (5) 母校創立140周年記念事業における報告が河野幹事長より報告され、了承されました。
- (6) 母校創立150周年記念事業について河野幹事長より報告され、了承されました。

### 第75期 収支予算書

自令和7年10月1日 至令和8年9月30日

(単位:円)

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
年會費	7,500,000	7,500,000	0	
卒業生入会金	1,200,000	1,200,000	0	240名(6クラス)
会員の集い参加費	2,200,000	2,200,000	0	300名参加・広告料収入
寄付金	500,000	500,000	0	
グッズ販売代	50,000	100,000	△ 50,000	「祝賀誌」発行費
受取利息	4,000	200	3,800	
特別積立金取崩	0	0	0	
140周年会計から繰入	2,000,000	2,000,000	0	※1 ※2
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	(13,504,000)	(13,550,200)	(△ 46,200)	
前期繰越金	(3,733,740)	(4,351,945)	(△ 618,205)	
収入の部合計	(17,237,740)	(17,902,145)	(△ 664,405)	

(単位:円)

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
運営費	(11,000,000)	(11,000,000)	(△ 100,000)	
印刷費	2,800,000	3,000,000	△ 200,000	会報・振替用紙等印刷費
通信費	2,400,000	2,200,000	200,000	会報発送・通信代
会員の集い費	2,200,000	2,200,000	0	
事務局運営費	1,500,000	1,500,000	0	事務局人件費
支払手数料	750,000	750,000	0	預金振替・お金のやり取り
支部強化費	400,000	400,000	0	学年・地域知道会基金
システム維持費	200,000	200,000	0	システム保守料
消耗品費	150,000	150,000	0	
旅費交通費	200,000	200,000	0	地域職域知道会企画費
リース料	200,000	200,000	0	複合機リース
会議費	100,000	200,000	△ 100,000	
渉外費	100,000	100,000	0	
事業費	(400,000)	(400,000)	(0)	
総務委員会費	20,000	20,000	0	
財務委員会費	20,000	20,000	0	
名簿委員会費	10,000	10,000	0	
広報委員会費	100,000	100,000	0	
親睦委員会費	150,000	150,000	0	
会費納入経費	100,000	100,000	0	経理システム・会費納入費
母校助成費	(3,360,000)	(3,360,000)	(0)	
海外派遣助成費	1,500,000	1,500,000	0	※1
大会運営補助費	600,000	600,000	0	※2
卒業記念品費	660,000	660,000	0	語り部・ついで・ついで
卒業生褒賞費	400,000	400,000	0	
歩く補助費	200,000	200,000	0	新治川・ツイン・ツイン・ツイン
特別積立金繰入	(0)	(0)	(0)	
予備費	(2,477,740)	(3,042,145)	(△ 564,405)	
当期支出合計	(17,237,740)	(17,902,145)	(△ 664,405)	
次期繰越金	(0)	(0)	(0)	
支出の部合計	(17,237,740)	(17,902,145)	(△ 664,405)	

※1 「生徒海外派遣プログラム」に対する140周年記念事業基金を原資とした助成  
 ※2 生徒の大会出場交通費に対する140周年記念事業基金を原資とした助成

総務委員会

本年も11月の知道会会員の集いに向けて実行委員会を編成し準備を進めていきます。4月11日には前回の集いの反省会および引継ぎ会を開催し、次回の会員の集いに向けてスタートを切ることとなります。今回の実行委員会は、総務委員会と本年の集いの企画運営にあたる学年幹事（平成7年、平成17年、平成27年卒）で構成され、5月より毎月実施予定です。新型コロナウイルス後、集いへの参加者が少なくなってしまっている傾向がありますが、若い会員から大先輩まで楽しく懇親を深められる魅力ある集いを開催できるよう実行委員会でお知恵を絞って趣向を凝らし計画していきます。皆様におかれましては11月14日(土)「知道会会員の集い」@水戸京成ホテルとカレンダーにしっかり書き込んでいただき、予定を空けて楽しみにお待ちください。  
(総務委員長 齋藤修 (平6卒))

財務委員会

知道会年会費で母校支援！

知道会の年会費は、本会の運営費のみならず母校支援にも使われております。皆様の年会費が後輩の学校生活の一助になる、素敵なことですね。母校支援のためお忘れなく年会費の払込みをお願いします。

年会費の払込みには郵便振替、銀行振込、自動引落とし、コンビニ払いに加えて、スマホ決済もご利用頂けます。スマホ決済は、会費の払込取扱票（郵便振替用紙）の通信欄に記載のバーコードを決済アプリで読み込むことでお支払いを進めて頂けます。払込取扱票が付いている会報が届いている方は是非ご利用下さい。

自動引落としも引き続き絶賛受付中です。次年度から自動振替をご希望の方は、今年度分の年会費払込みの際に払込用紙の通信欄に「自動振替希望」とご記入頂くか、お電話にて事務局（TEL 029-226-3960）にご連絡下さい。

現在、「口座振替キャンペーン」として口座振替の手続きをして頂いた方を対象に、フオ・カード（1,000円）を進呈しております。



財務委員会では、払込み方法の多様化を含めて更なる利便性向上の検討を進めて参りますので、引き続きご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

(財務委員長 出澤琢磨 (平1卒))

名簿委員会

前回の会員名簿が2023年（令和5年）に発行されてから、約3年が経過しました。

今回の名簿発行は、創立150周年を迎える2028年（令和10年）を予定しており、そろそろ具体的な検討を始める時期に来ております。

個人情報の取扱いに細心の注意を払いながら、時勢にあった名簿発行ができますよう検討して参ります。

また、会員の皆様のご連絡先等の確認やデータ更新も当委員会の重要な任務であり、それらの情報は知道会の活動の生命線であると認識しておりますので、例年どおりしっかり務めて参ります。  
(名簿委員長 野村貴広 (平7卒))

親睦委員会

2025年11月の集いには、平成6年卒つまり私の学年が最後の担当として関わりました。総務委員長の齋藤さんが集いの実行委員をまとめ、平成16年卒、平成26年卒の方々と一緒に一回集まり、夏には、親睦委員会が主催して知道会委員、学年担当の方々との年齢を超えた交流を深めました。集いまでの会議を通して、当日のスケジュールを策定、プログラムを組立、パンフレットの内容について吟味し、まとめ上げ、知命を迎えた年齢にふさわしい充実した集いとなりました。ゴルフ以外でも各委員会とのつながり、知道会の集いでの交流など、知道会に少しでも関わってくれる方の参加をお待ちしています。  
(親睦委員長 加藤尚弘 (平6卒))

広報委員会

知道会報は、春号はweb、秋号は印刷にて全会員の皆様に郵送しておりますが、今回の春号は、「150周年記念事業」のご案内のため、全会員の皆様にお送り致しました。現役生徒の活躍など、盛りだくさんな内容です。春・秋ともweb版はカラー掲載ですので、ぜひ知道会HPよりご覧ください。令和卒の委員も加わったことで、若い世代を中心に閲覧者の多いSNSも積極的に活用しながら、母校と知道会、そして会員の皆様同志を結びツールとして、幅広く情報を掲載して参ります。  
(広報委員長 磯美保 (昭60卒))

第75期 知道会幹事会及び委員会名簿

顧問	後藤卓三 (S19)、角田芳夫 (S28)、鬼澤邦夫 (S38)、稲葉節生 (S38)、☆庄司一裕 (校長 S62)
会長	江幡秀則 (S47)
副会長	栗原英則 (S48)、伊藤道子 (S53)、笹嶋正 (S54)、高村祐一 (S56)、☆笹沼一弘 (S58)
幹事長	河野秀幸 (S63)
副幹事長	飯塚博之 (S56)、鹿志村茂 (H5)
総務委員会	*◎齋藤修 (H6)、*◎照沼裕一 (H3)、*◎坪井正幸 (H5)、黒木雅宏 (S58)、橋本慎 (S58)、竹村広治 (H3)、加瀬昭宏 (H5)、佐藤蘭弥 (H8)、星野博史 (H11)、住谷直樹 (H14)、矢板淳一 (H16)、北澤佑子 (H17)、山村美樹 (H19)、藤枝咲絵 (H23) ☆帯刀愛理 (R3)
財務委員会	*◎出澤琢磨 (H1)、*◎仲田留美 (S63)、*◎坂本正弘 (H1)、太田聖史 (S58)、猪野嘉彦 (H2)、坏なぎさ (H3)、浦田裕士 (H7)、小川哲 (H8)、稲野知穂 (H19)
名簿委員会	*◎野村貴広 (H7)、*◎後藤直樹 (S54)、加賀美理帆 (S59)、須能浩信 (S60)、岡村太郎 (H7)、岡村有希子 (H7)、渡邊優美 (H15)
広報委員会	*◎磯美保 (S60)、*◎和知忠道 (H11)、内藤学 (S53)、後藤岳志 (S54)、平江夏樹 (S56)、平山桂己 (S59)、小林典子 (H6)、中原清人 (H9)、平戸正英 (H13)、福澤宏文 (H26)、☆園部耀子 (H26)、井川陽羽 (R4)
親睦委員会	*◎加藤尚弘 (H6)、*◎磯崎雄司 (H1)、*◎海老根武 (H2)、田部田英智 (H6)、堀野辺直 (H6)、藤田奈津子 (H13)、☆根本龍典 (H14)
幹事	*小田木健治 (S59)、☆*須能浩信 (S60)、☆*鹿内秀樹 (H1) ☆*會田圭祐 (H4)、☆*赤羽根圭太 (H20)、*浅野茂生 (S59)
監事	安智範 (S60)、小野瀬貴久 (H18)
事務局	石川格 (S50)、綿引秀明 (S61)

( ) 卒業年次、\*幹事、◎委員長、○副委員長、☆新任 2026.4.1現在

ホームページから  
登録内容の変更手続きができます！

◎会員情報変更フォーム <https://chidokai.jp/desk/r-form/>  
その他お問い合わせ [chidokai\\_mito@chidokai.jp](mailto:chidokai_mito@chidokai.jp)



事務局

月・水・金（祝祭日を除く）  
10:00～15:00

来局の際は、事前にご連絡をお願い致します。